



## 2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社フィックスターズ 上場取引所 東  
 コード番号 3687 URL <https://www.fixstars.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木聡  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀美奈子 TEL 03-6420-0751  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年9月期第3四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	5,246	13.8	1,365	13.2	1,357	12.4	874	16.4
2022年9月期第3四半期	4,609	15.9	1,205	132.4	1,207	137.0	750	170.9

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 944百万円 (7.8%) 2022年9月期第3四半期 876百万円 (194.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	27.18	—
2022年9月期第3四半期	23.21	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期第3四半期	7,684	5,242	65.9	157.50
2022年9月期	8,161	4,584	54.1	137.34

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 5,067百万円 2022年9月期 4,414百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年9月期	—	0.00	—		
2023年9月期（予想）				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	15.7	2,000	23.1	2,000	18.3	1,300	20.1	40.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー  
なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、株式会社Drone Autopilot Labを第2四半期連結会計期間において設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期3Q	33,635,000株	2022年9月期	33,635,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	1,457,480株	2022年9月期	1,491,980株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期3Q	32,164,378株	2022年9月期3Q	32,341,604株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示し、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の影響緩和による景気の持ち直しの動きが見られる一方、引き続きウクライナ情勢の影響による資源価格の高騰、世界的な金融引締めに伴う影響等により、景気先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、コンピュータの性能を最大限に引き出し大量データの高速処理を実現するソフトウェア及びハードウェア等を提供するとともに、これらの知見がより広く社会に活用されることを目指し、新規SaaS事業の展開を行っております。

主力のSolution事業では、自動運転を対象としたアルゴリズム開発や高速化案件、半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が長期安定して継続しております。その他においても、高速化サービスに対する旺盛な需要を背景に、日本国内の製造業向け案件を中心として安定的な収益を獲得しております。

SaaS事業においては、量子コンピュータ向けプログラムの開発・実行プラットフォーム「Fixstars Amplify」、AIコードレビュー「Sider」、乳がんAI画像診断支援事業等の開発を進めております。

また、海外においては米国子会社のFixstars Solutions, Inc.が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、研究機関等を対象とした高速化案件の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,246,764千円（前年同期比13.8%増）、営業利益1,365,304千円（前年同期比13.2%増）、経常利益1,357,726千円（前年同期比12.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益874,072千円（前年同期比16.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

#### ①Solution事業

Semiconductorの分野では、モバイル機器やデータセンタ等で利用の進むNANDフラッシュメモリを対象として、ファームウェア及びデバイスドライバの開発等を行っております。Mobilityの分野では、自動運転を対象としたアルゴリズム開発及び高速化案件や、次世代モビリティに関連する研究開発及び高速化支援を行っております。Life Scienceの分野では医療画像診断装置における高精細画像のリアルタイム処理やゲノム解析、Financeの分野ではリスク計算やHFTの高速化支援、Industrialの分野では産業機器等におけるマシンビジョンシステムの高速化支援等を提供しております。

この結果、売上高は5,108,031千円（前年同期比13.1%増）、セグメント利益（営業利益）は1,631,190千円（前年同期比9.8%増）となりました。

#### ②SaaS事業

各SaaS事業において、将来の収益獲得に向けて積極的な投資・開発を行っております。

この結果、売上高は138,733千円（前年同期比47.1%増）、セグメント損失（営業損失）は265,885千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）280,385千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (総資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて477,431千円減少し、7,684,545千円となりました。これは、現金及び預金が541,200千円減少したこと等が主な要因であります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,136,077千円減少し、2,441,798千円となりました。これは、返済により長期借入金596,997千円減少したこと、未払法人税等391,373千円減少したこと等が主な要因であります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて658,645千円増加し、5,242,746千円となりました。これは利益剰余金が552,642千円増加したこと等が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の業績予想につきましては、2022年11月11日付の「2022年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想からは変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,056,616	4,515,416
電子記録債権	4,125	3,731
売掛金	2,012,106	1,962,905
契約資産	71,965	177,235
棚卸資産	7,728	15,249
その他	52,882	133,876
流動資産合計	7,205,424	6,808,414
固定資産		
有形固定資産	351,967	276,439
無形固定資産		
その他	2,735	3,472
無形固定資産合計	2,735	3,472
投資その他の資産		
投資有価証券	69,210	172,791
繰延税金資産	189,767	91,984
敷金及び保証金	342,870	331,443
投資その他の資産合計	601,848	596,219
固定資産合計	956,552	876,131
資産合計	8,161,977	7,684,545
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	175,773	109,980
1年内返済予定の長期借入金	795,996	795,996
契約負債	31,308	48,900
未払法人税等	499,986	108,613
賞与引当金	251,471	77,448
その他	527,848	608,844
流動負債合計	2,282,383	1,749,781
固定負債		
長期借入金	1,289,014	692,017
その他	6,478	—
固定負債合計	1,295,492	692,017
負債合計	3,577,876	2,441,798
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	554,468	554,468
資本剰余金	543,917	554,534
利益剰余金	4,536,767	5,089,410
自己株式	△1,364,035	△1,332,493
株主資本合計	4,271,117	4,865,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	72,350
為替換算調整勘定	143,501	129,619
その他の包括利益累計額合計	143,501	201,969
非支配株主持分	169,481	174,857
純資産合計	4,584,101	5,242,746
負債純資産合計	8,161,977	7,684,545

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,609,372	5,246,764
売上原価	2,318,278	2,583,822
売上総利益	2,291,093	2,662,942
販売費及び一般管理費	1,085,213	1,297,637
営業利益	1,205,880	1,365,304
営業外収益		
未払配当金除斥益	750	672
受取利息	30	317
受取賃貸料	483	—
助成金収入	820	—
為替差益	4,273	—
その他	290	171
営業外収益合計	6,647	1,161
営業外費用		
支払利息	4,755	3,106
為替差損	—	5,598
その他	339	34
営業外費用合計	5,094	8,739
経常利益	1,207,433	1,357,726
特別利益		
投資有価証券売却益	—	19,550
特別利益合計	—	19,550
特別損失		
投資有価証券評価損	9,300	—
特別損失合計	9,300	—
税金等調整前四半期純利益	1,198,132	1,377,277
法人税、住民税及び事業税	443,242	425,601
法人税等調整額	△9,462	65,681
法人税等合計	433,780	491,283
四半期純利益	764,352	885,994
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,555	11,921
親会社株主に帰属する四半期純利益	750,796	874,072

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	764,352	885,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	72,350
為替換算調整勘定	111,700	△13,881
その他の包括利益合計	111,700	58,468
四半期包括利益	876,052	944,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	862,496	932,540
非支配株主に係る四半期包括利益	13,555	11,921



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	Solution事業	SaaS事業	
売上高			
一時点で移転される財	4,087,519	66,746	4,154,265
一定の期間にわたり移転される財	427,569	27,536	455,106
顧客との契約から生じる収益	4,515,089	94,283	4,609,372
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	4,515,089	94,283	4,609,372
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,515,089	94,283	4,609,372
セグメント利益又は損失(△)	1,486,266	△280,385	1,205,880

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	Solution事業	SaaS事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	4,497,152	65,076	4,562,229	—	4,562,229
一定の期間にわたり移転される財	610,879	73,656	684,535	—	684,535
顧客との契約から生じる収益	5,108,031	138,733	5,246,764	—	5,246,764
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,108,031	138,733	5,246,764	—	5,246,764
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,675	106,919	134,595	△134,595	—
計	5,135,707	245,653	5,381,360	△134,595	5,246,764
セグメント利益又は損失（△）	1,631,190	△265,885	1,365,304	—	1,365,304

(注) セグメント利益又は損失（△）の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会社組織の変更に伴い、2022年7月1日よりGENESIS事業の報告セグメントを「SaaS事業」から「Solution事業」に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報及び顧客との契約から生じる収益を分解した情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。